

初春の高麗の里ウオーク

2月25日、久しぶりのハイキング部の例会である。12月に一度企画するも参加者が集まらない。それで、今回は参加しやすいようほぼ平坦な道で、旧所名跡を尋ねる「里歩き」を計画した。何やら史跡めぐり部と区別が付かないような企画になってしまったが、それでも行程約10kmはハイキング部ならではのものではないだろうか。

9時過ぎに高麗駅前に集合、女性4名男性6名の10名が参加。風もなくやわらかな日差しの中、いざ出発。

まずは巾着の絞りにあたる鹿台橋と天神橋を渡り、その下流にある清流橋の袂で高麗川右岸にでる。大きな流木が岸に引っかかっている、また川岸の保護柵が川の方に倒れ込み、昨年の台風19号の被害が散見される。しばらく田舎道を歩くと聖天院(しょうてんいん)の参道に出る。300円を払って、お参りする。山麓にある本堂からは高麗の里がよく見える。本堂の奥には分譲墓地が見える。いくらぐらいするのだろう、高いだろうな、買っても子供たちにとっては邪魔扱だろうかと思いつつ、でも手当てをしておいた方がいいのか、田舎の墓をどうしようかとも、いろいろ考える。こんなことが切実な年齢になった。次に高麗神社に向かう。1300年も昔に、遠く朝鮮半島北部から、内戦に敗れ、はるばる「大和に逃れてきた」人たちがいたことに思いをはせる。どのような気持ちで異郷の地に流れてきたのだろうか。地元民との意思の疎通はどのようにしていたのだろうか。共通の漢字を使っていたのだろうか、それとも、古朝鮮語と古い大和言葉の間にはかなり共通するものがあるって方言ぐらいの差しかなかったのだろうか。文法は似ているらしい。TVニュースの文韓国大統領の発言はところどころ分かるところがある。そういえば奈良時代の枕詞は朝鮮語が起源という説があった。

高麗神社はお参りすると出世するというありがたい神社であるが、我々には遅すぎ、今更の神社である。次に、農産物直売所の“あぐれっしゅ日高”に向かう、これから先4-5kmも歩く身になって考えると、重いダイコンや野菜を買う訳に行かず、わずかに昼食の補給にとどめる。

あとはひたすら巾着田を目指す。ドレミファ橋を渡り巾着田へ、ここにある東屋で楽しいお弁当タイム。A会員が持参してくれた暖かいみそ汁をご馳走になる。この頃には陽が隠れ肌寒くなり、暖かい飲み物がありがたい。この後「ひなまつり」開催中の旧新井住宅に寄りひな人形や吊るし雛を鑑賞、吊るし雛はボランティアの人たちが数年かけて作ったとか。作者には敬意を払うが、この地域に伝わった伝統雛かと思っていたので少しがっかり。

午後2時前に高麗駅に戻り、女性陣と飯能で分かれ、男性陣はいつもの「ガスト」で昼酒を飲む。ビール1杯200円、デキャンター1瓶400円、安くてうまい！

次回は入間班の企画で、3月24日、大高取山。丁度桜が満開(のはず)、皆で参加しよう。

聖天院は高句麗から 1300 年も前に日本に逃れてきた高句麗の王族若光院

高麗王若光の菩提寺として創建された。寺号は若光が高句麗より持参した歓喜天を本尊とすることから名付けられたという。1345 年に法相宗から真言宗に改宗。天正 18 年に徳川家康が関東に入国すると、翌年(1592 年)、寺領として高麗郷内に 15 石を寄進された。

<https://shoudenin.jp/>

現在の埼玉県日高市の一部および飯能市の一部にあたる高麗郷および上総郷は 716 年に武蔵国高麗郡が設置された地である。中世以降、郡域が拡大し、日高市・鶴ヶ島市のそれぞれ全域と、飯能市・川越市・入間市・狭山市のそれぞれ一部が高麗郡の範囲となった。668 年に唐・新羅に滅ぼされ亡命して日本に居住していた高句麗からの帰化人を朝廷はこの地に移住させた。703 年には高麗若光が朝廷から王姓が下賜されたという話が伝わっている。高麗若光が「玄武若光」と同一人物ならば、高句麗王族の一人として王姓を認められたということになる。この高麗若光も朝廷の命により高麗郡の設置にあたって他の高句麗人とともに高麗郡の地に移ってきたものと推定されている(新編『埼玉県史』)。

<http://komajinja.or.jp/>

高麗郷古民家(新井家住宅)

https://www.city.hidaka.lg.jp/tourism_environment/4/sisetu/5869.html

<https://www.city.hidaka.lg.jp/soshiki/shiminseikatsu/sangyoshinko/shokokankou/kanko/eventmaturi/2704.html>



高麗駅からスタート



聖天院に向かう



聖天院の山門を
くぐる



聖天院の境内



高麗神社の裏にある高麗家住宅の庭に咲くマンサク（満作）と紅梅



高麗郷 古民家のひなまつり



高麗郷 古民家のひなまつり



鹿台橋近くの切株に立つキジ